

INTER COOLER **Standard Edition** **SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

A31 CEFIRO
C33 LAUREL

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名:NISSAN CEFIRO/LAUREL
- 型 式:A31/C33
- エンジン:RB20DET
- 年 式:88年09月～92年05月(A31)/89年04月～92年08月(C33)
- 製品名称:BLITZ INTER COOLER Standard Edition
- 製品番号:23107

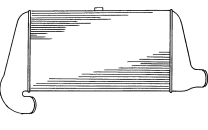

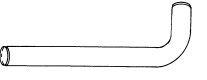
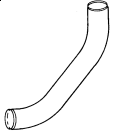
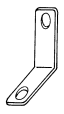








製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先:(株)ブリッツ
- 住所:東京都西東京市新町4-7-6
- TEL:0422-60-2277
- FAX:0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

■ パーツリスト ■				
インタークーラー	パイプφ60No.1	パイプφ60No.2	パイプφ60No.3	I/Cアップステア
 1	 1	 1	 1	 1
I/Cロウステア	ホースφ60	異径ホースφ60-φ70	クランプφ60用	クランプφ70用
 1	 1	 2	 2	 4
ボルトM8	ボルトM6	ナットM8		
 4	 1	 3		

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、フローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。
- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

作業の方へお願い !

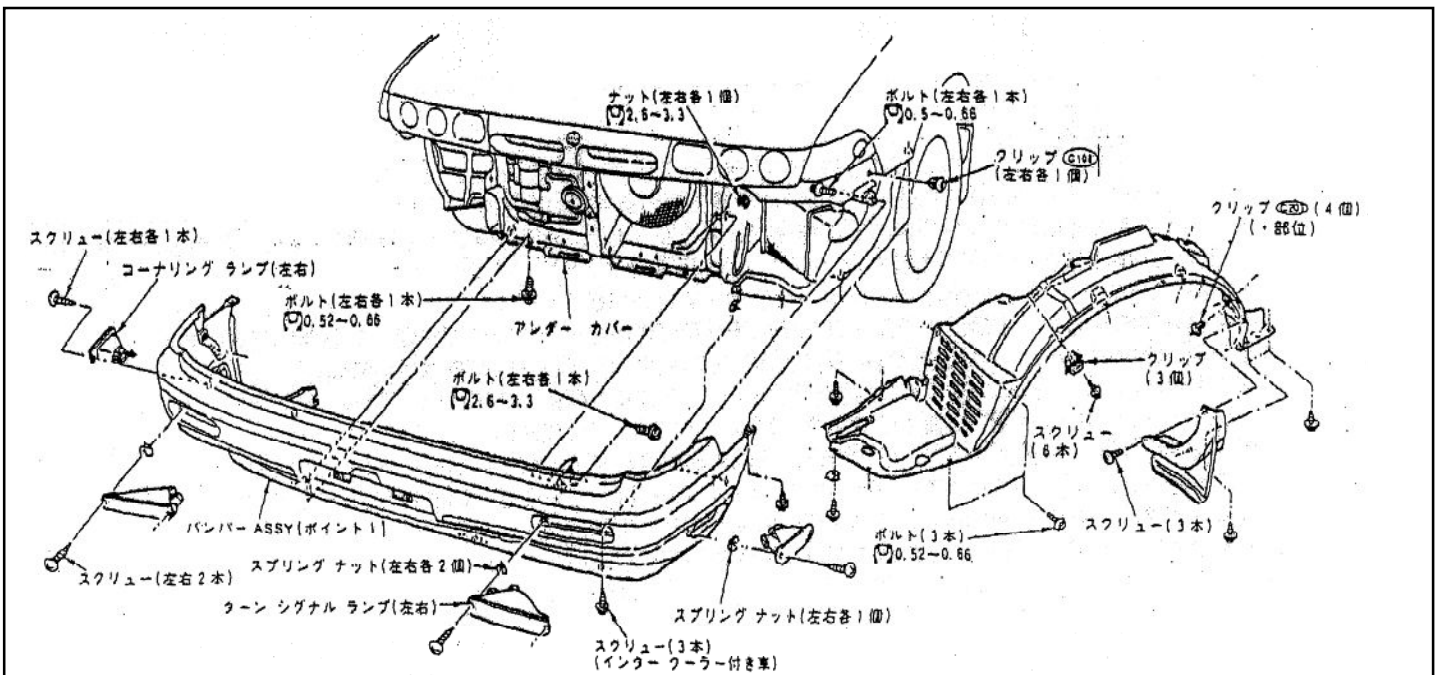
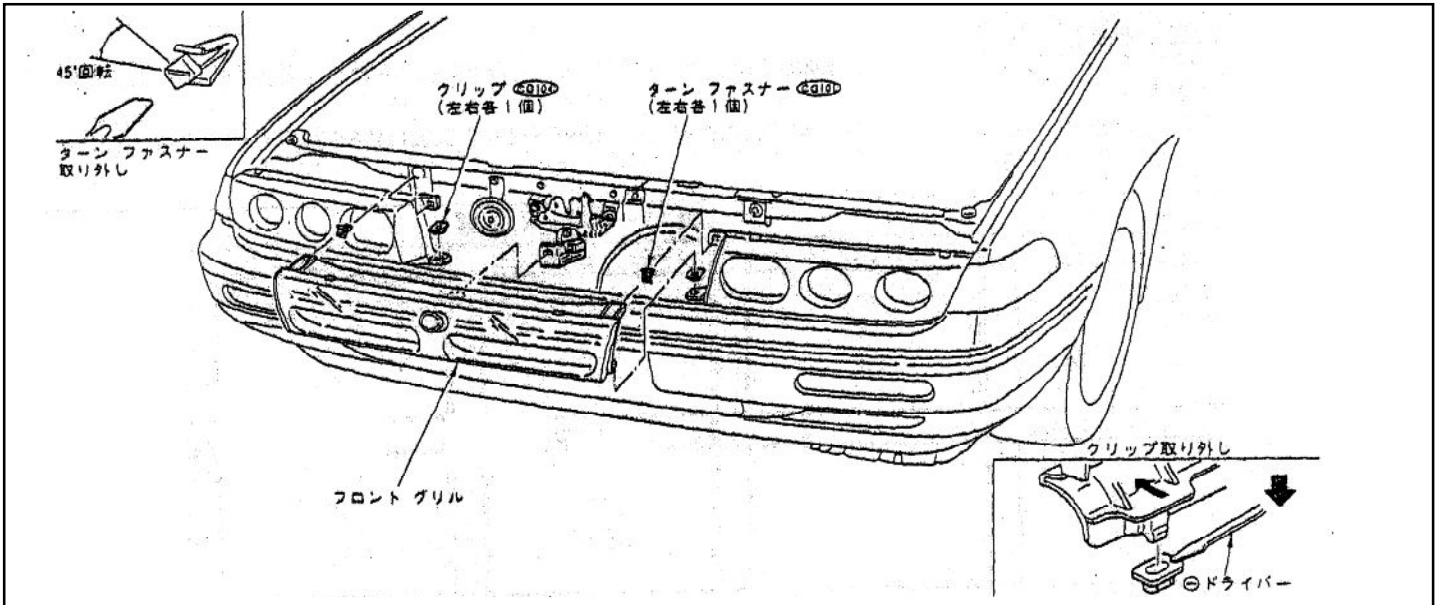
□作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

■ ノーマルパーツ取り外し ■

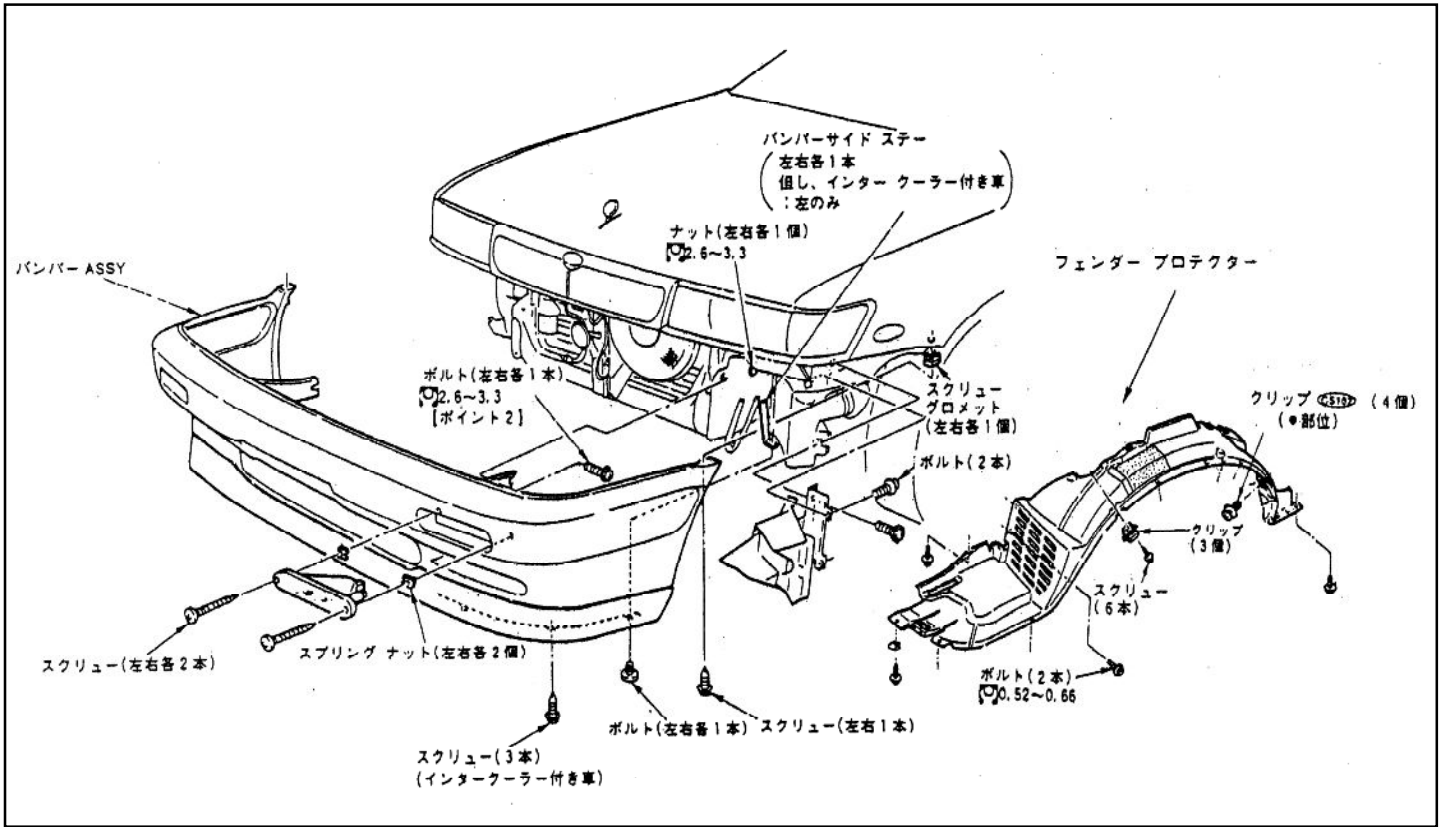
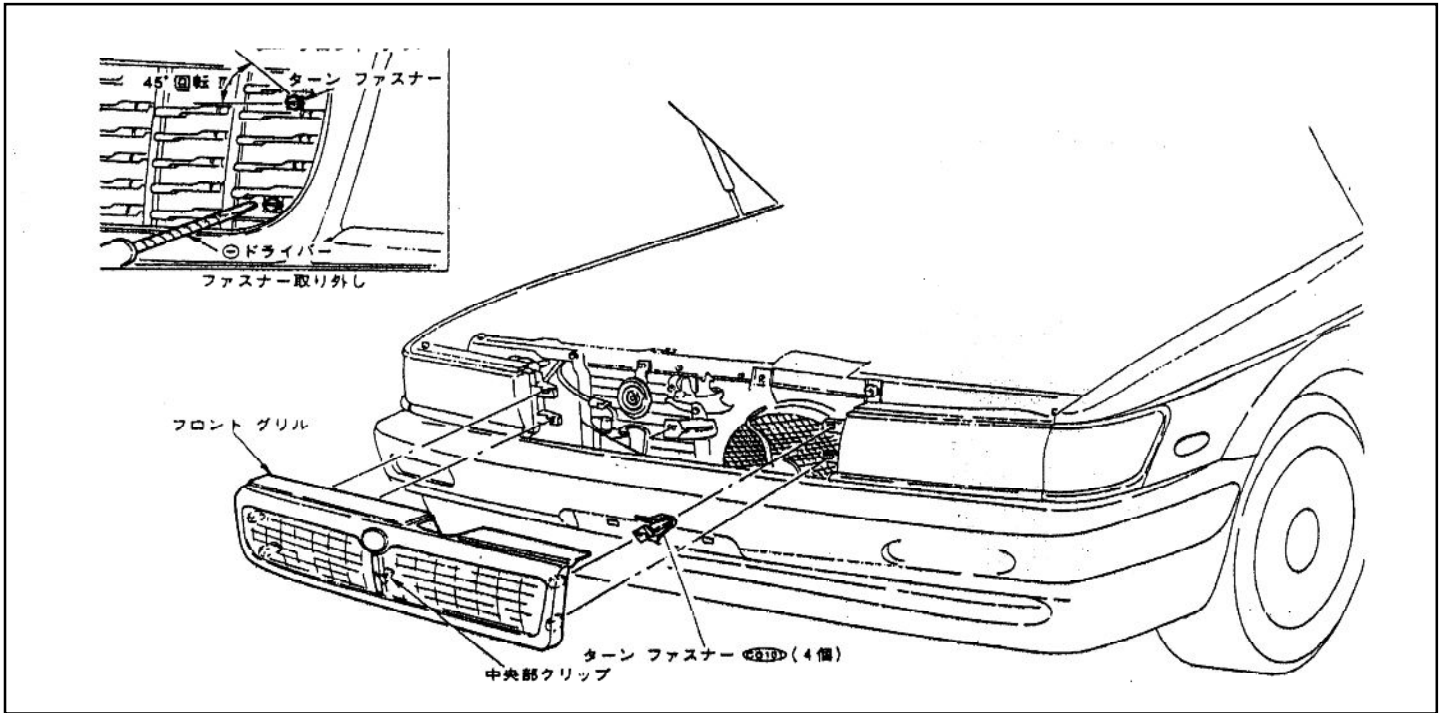
1. バッテリーのマイナス端子を外して下さい。
2. 車をリフトアップ (ジャッキアップ) し、左フロントタイヤ、フェンダープロテクター (LH)、エンジンアンダーカバーを取り外して下さい。
3. フロントグリルを取り外して下さい。
4. 左右ターンシグナルランプのコネクターを抜いて下さい。
5. フロントバンパーASSYを取り外して下さい。

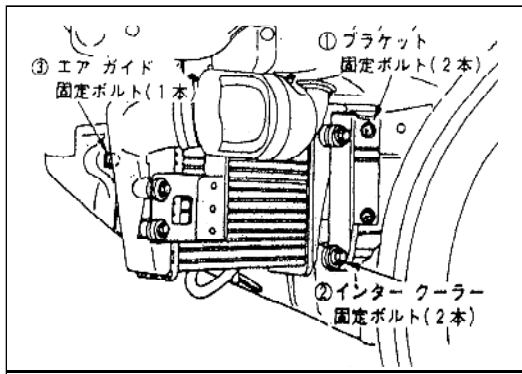
※ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。

A31セフィーロ



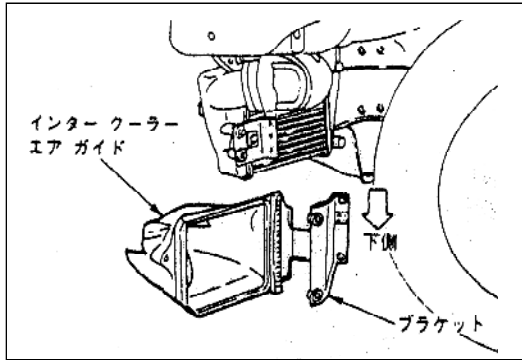
C33 ローレル



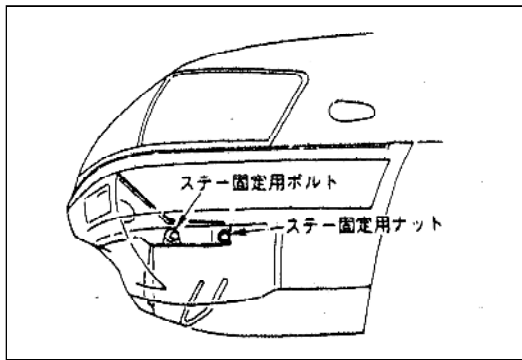


インタークーラーエアガイドの取り外し

- ブラケット固定ボルトを外した後、インタークーラー固定ボルトを外す。
- エアガイド固定ボルトを前側から外す。



- インタークーラーエアガイドをブラケットと共に、下側に引き抜く。



バンパー脱着

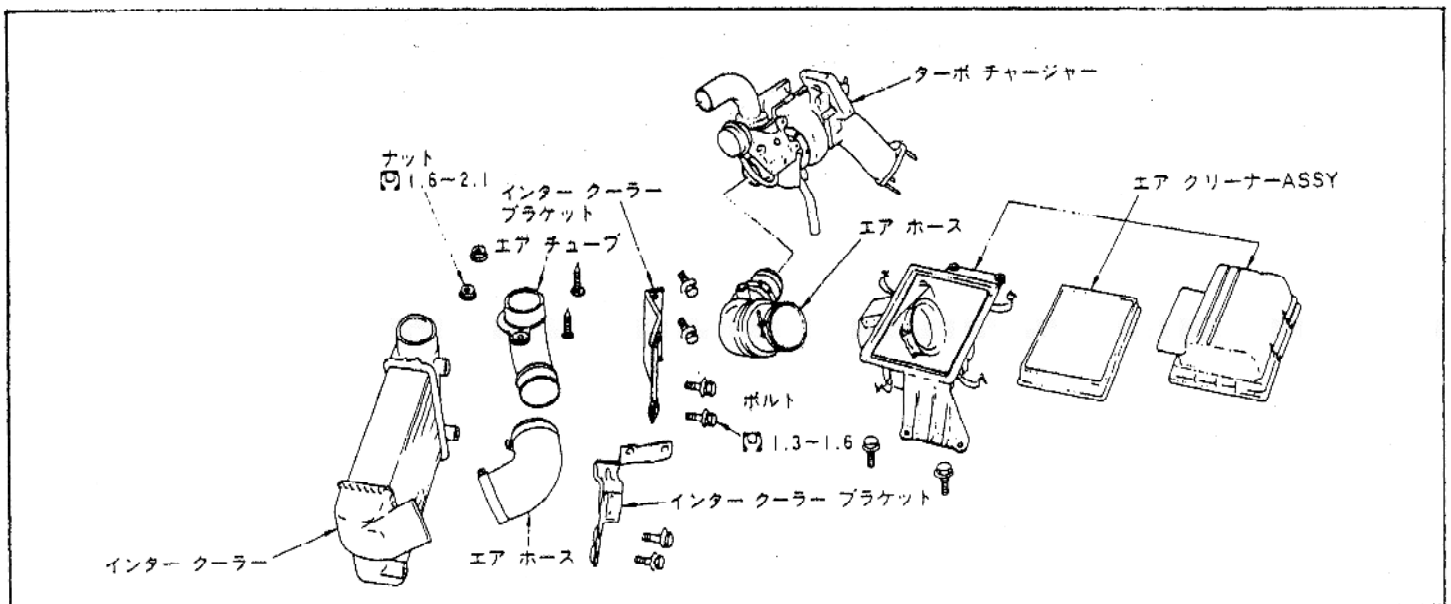
取り外し

- ステア固定用ボルトを取り外す。
- ステア固定用ナットをゆるめて車体よりバンパーステーをスライドさせて取り外す。

注：ステア固定用ナットはゆるめる程度として、車体側スタッドボルトにナットを取り付けておく。

6. フードロックステーに固定されているホーンを、ステーごと取り外して下さい。
7. エアクリーナーBOX、インタークーラーASSY、及び配管を、下図に従って取り外して下さい。

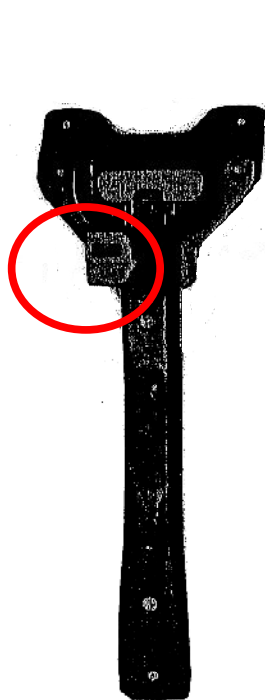
※ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。



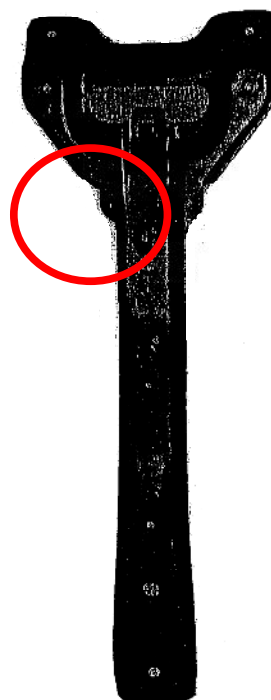
■ KITパーツ取り付け ■

1. フードロックステーの加工

フードロックステーを車両より取り外し、下図の様にカット加工して下さい。



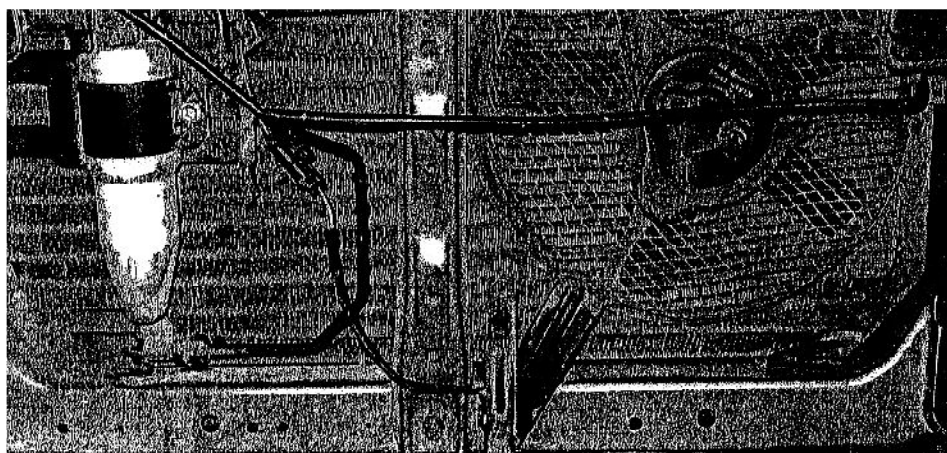
加工前



加工後

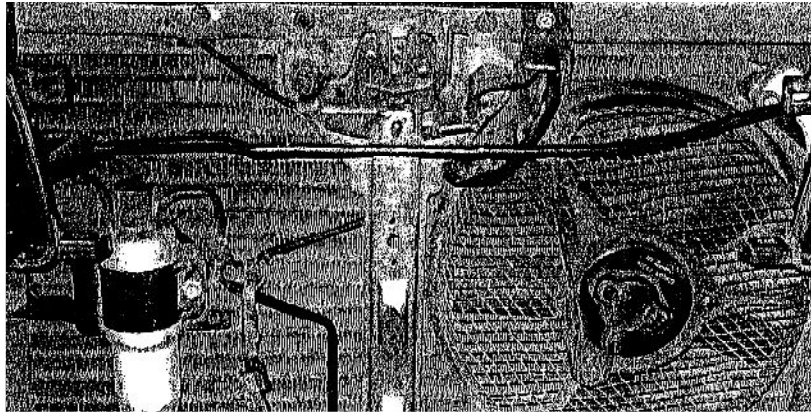
2. 外気センサーの移動

外気センサーをステーより取り外し、下図の様にコンデンサー側から挿して下さい。



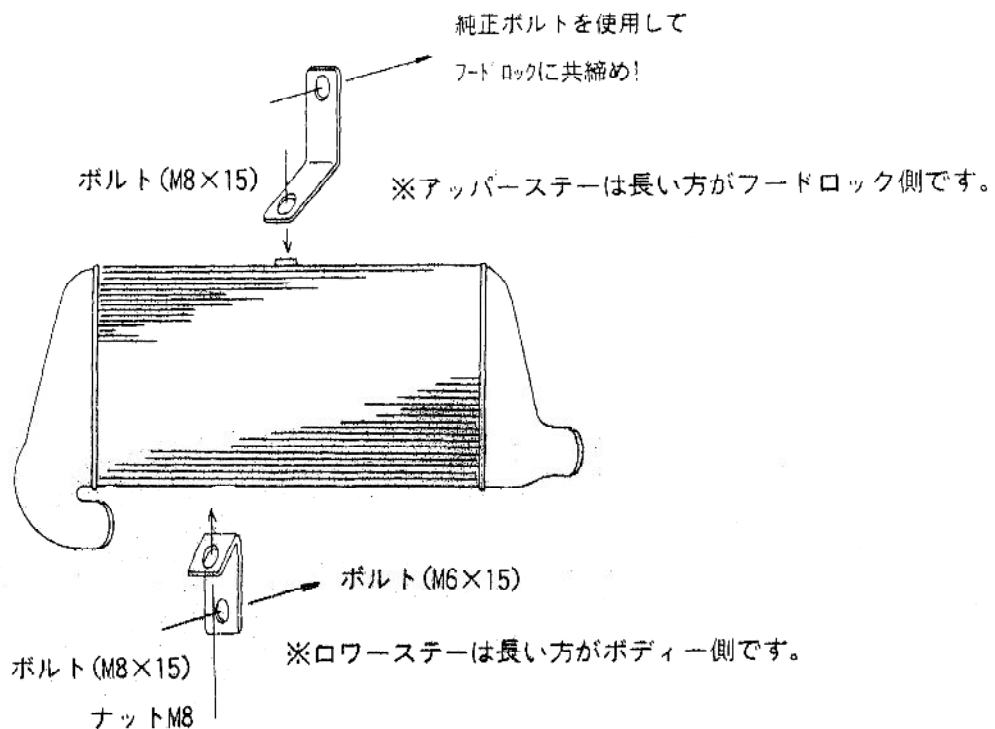
3. エアコンパイプ加工

- ①エアコンレシーバータンクを可能な限りコンデンサー側へ寄せて下さい。
- ②エアコンパイプを下図を参考にして上方へ曲げ加工して下さい。



注意 破損しやすいので力まかせに曲げないで下さい。また、パイプの潰れ等に注意し、ゆっくりと慎重に曲げて下さい。

4. インタークーラー本体取り付け



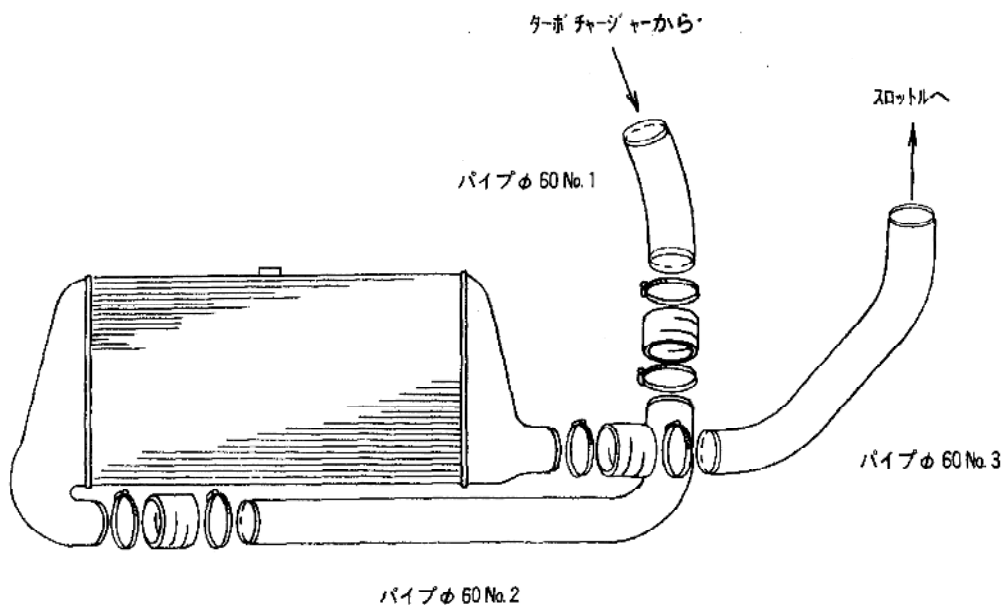
※インタークーラー本体が水平になるように、調節して固定してください。

※ボンネットがしっかり閉まるか確認してください。フードロックが下がっている場合は閉まりにくくなりますので、インタークーラー本体をなるべく上方へ上げて固定して下さい。

5. インテークパイプの配管

KIT内パイプφ60(No.1~No.3)を、各サイズのクランプとホースを使用して、下図のように配管してください。

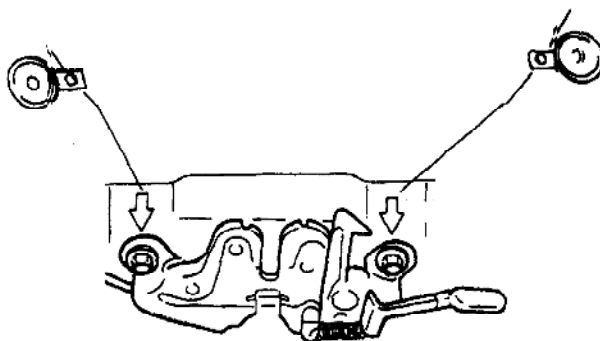
尚、各パイプにはパイプNo.と方向を記したステッカーが貼られています。



※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調節してください。
※特にNo.2とNo.3のパイプのクリアランスに注意して下さい。

6. ホーンの取付け

取り外したホーンをフードロックへ共締めしてください。
この際に、ホーンステー部分がフードロックへ干渉するので
カット加工し取り付けてください。

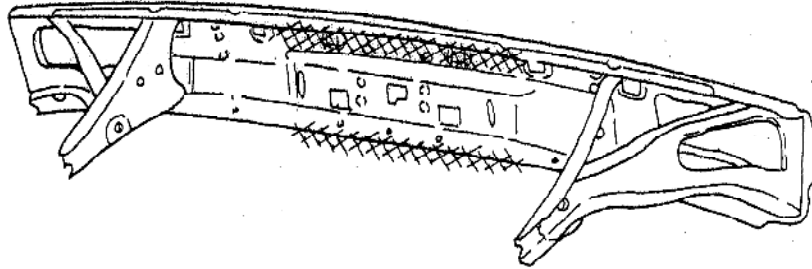


※ホーンの配線を忘れずに行ってください。

7. バンパーレインフォース加工

下図斜線部を参考にしてバンパーレインフォースがI/C本体に干渉する部分を、カット加工して車輻に取り付けて下さい。

注意 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。



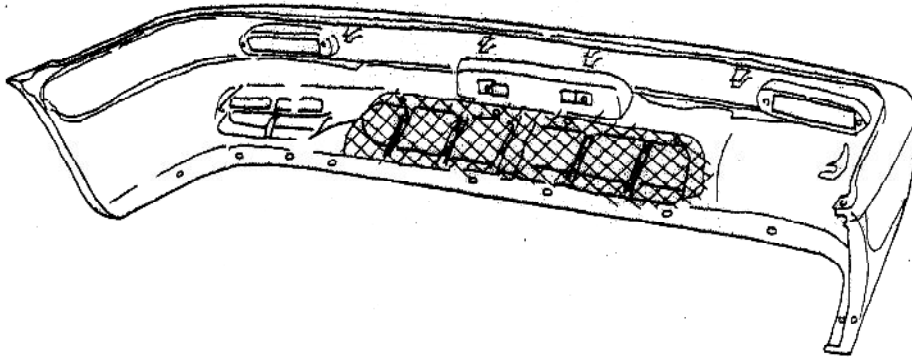
※バンパーフェイスを固定するクリップ穴は残して下さい。

※ボディに付着した鉄粉は、錆の原因になりますので、取り除いて下さい。

※加工部は塗装を施し、錆の防止に努めてください。

8. フロントバンパーの加工

下図斜線部を参考にしてインタークーラーに接触する部分を切りとって取り付けてください。



※図はローレルのものです。セフィーロも同様にして接触する部分を切り取って下さい。

※A31セフィーロの場合、年式が昭和63年9月～平成2年8月までのものに関しては、フロントバンパーの大幅な加工が必要ですので注意して下さい。

※バンパーレインフォースへの固定穴を切り取らない様に注意してください。

注意 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。

9. ターンシグナルランプ及びフォグランプのコネクターを挿して下さい。
10. エアフロメーター及びエアクリーナーBOXの取り付け
※ホコリや異物が入らないように気をつけてください。
※エアフロメーターの配線は確実に行ってください。
11. エンジンの始動に当たって
必ず換気の良い場所で行ってください。
各配管を点検して、バッテリーのマイナス端子を接続し、エンジンを始動して下さい。
※各接続部からのエア漏れや干渉等が無い点検してください。
※ホーンが鳴るか確認してください。
※フロントコンビネーションランプが作動するか確認してください。
12. エンジンを停止し、インジアンダ-カバー・ファンダ-プロテクター・タイヤを取り付けてください。

以上でKITの取り付けは終了です

■ テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか確認して下さい。もし不具合のある場合は、もう一度本取扱説明書をよく読み各部のチェックを行って下さい。

BLATZ